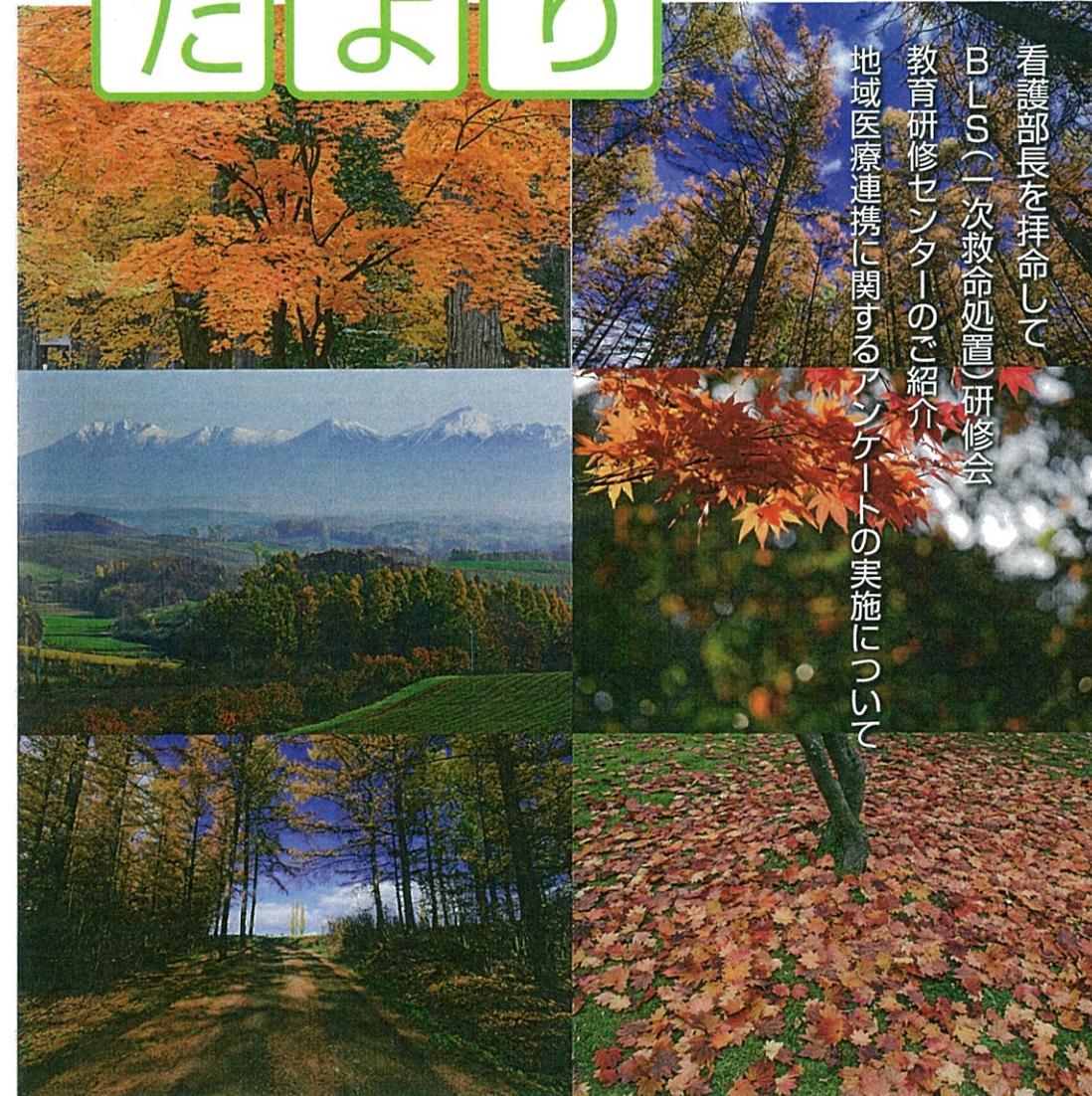


連携室
だより

看護部長を拝命して
BLS（一次救命処置）研修会
教育研修センターのご紹介
地域医療連携に関するアンケートの実施について



人事消息

採用医師のお知らせ

平成29年6月1日付
形成外科
平成21年度卒
堀越 久子

平成29年10月1日付
歯科口腔外科
平成28年度卒
古玉 明日香

平成29年10月1日付
麻酔科
平成27年度卒
田中 聡一

平成29年10月1日付
脳神経外科
平成25年度卒
後藤 秀輔

平成29年10月1日付
臨床研修医
平成28年度卒
市原 一矢

退職医師のお知らせ

平成29年6月30日付
麻酔科
奥河原 歩

平成29年7月25日付
脳神経外科
岡本 迪成

平成29年8月31日付
小児科部長
吉田 真

平成29年9月30日付
歯科口腔外科
松田 真也

平成29年9月30日付
麻酔科
吉田 奈央

理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し質の高い医療を提供します

基本方針

- 1.患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
- 2.急性期医療を中心に診療を進めます
- 3.救急医療の充実に努めます
- 4.地域の医療機関等との連携を推進します
- 5.国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
- 6.職員の教育、研修を充実させます
- 7.健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

私たちは患者さまの権利を尊重します

適切に医療を受ける権利 医療に関して知る権利 医療行為を自分で選ぶ権利 プライバシーを保障される権利 人権を尊重される権利 セカンドオピニオンを受ける権利

旭川赤十字病院職員行動規範 5つの約束

- 1.私たちは、来院される方と職員に笑顔であいさつをします
- 2.私たちは、初対面の患者さまに、自己紹介をします
- 3.私たちは、電話の最初に、部署と名前を名乗ります
- 4.私たちは、患者さまに診察や説明をしたあとに「何かわからないことやご質問はありませんか?」とお尋ねします
- 5.私たちは、院内で迷われている皆様にお声掛けをし、ご案内します

発行

旭川赤十字病院 地域医療連携室

〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号
tel.(0166)22-8111(代表) fax.(0166)22-8287(直通)
URL <http://www.asahikawa.jrc.or.jp/> Email renkei@asahikawa.jrc.or.jp

ごあいさつ

—看護部長を拜命して—

4月より看護部長を拜命し、重責に身の引き締まる思いで職責に臨んでおります。

私は新卒で外科病棟に2年勤務後、助産師として20年以上、命の誕生に携わってまいりました。女性が持つ本来の生み出す力を大事にし、多くの助産師たちとフリースタイル出産を実践し、誕生の喜びと同時に命を守る厳しさを経験致しました。

正常な出産を迎えるための妊娠中のケアには、短時間の健診を通じ、より早期の信頼関係の構築がなされなければ妊婦が実践できる生活支援にはつながらないことを実感し、これらの経験が現在の看護管理の基礎となっております。

その後、血液腫瘍内科病棟に3年勤務し、長く血液悪性疾患と戦い続ける患者様と共に歩む医療スタッフの素晴らしさを感じるとともに、多くの看取りの中で、患者様の意思決定に関わる看護の役割の重要性を再認識致しました。骨髄移植後の感染症を目の当たりにし、感染症学に関心を抱き、北海道医療大学認定看護師研修センターへ入学し、帰院後、感染管理認定看護師として10年間専従勤務致しました。

近年、感染対策へのニーズは高まり、全国の病院へ派遣の機会をいただき、その経験の中で、異なる組織であっても感染管理の浸透にはエビデンス以上に職員間コミュニケーションが要となることを学びました。感染管理は、新型インフルエンザ等々、自施設のみでなく地域を捉えた対策が重要であり、旭川市内5基幹病院の感染管理認定看護師と連携し、旭川感染管理ネットワークを発足しました。地域医療機関を対象にした年1回の研修会を企画・運営し、今年4月に11回目を迎え、190施設の医療者が集う会に成長し地域の力を実感致しました。

旭川市の高齢化はすでに30%を超え、地域包括ケアシステムの構築における看護の役割は病院から地域へとさらに幅広く拡大していき

ます。院内の平均在院日数が11日と短く、看護師は治療と生活の両者を理解し、患者様が病院や地域の中でシームレスなケアが受けられるよう調整する役割が求められていきます。今後、当院においても入院前からの生活を見据えた看護支援とともに、地域連携の推進に努めたいと考えます。

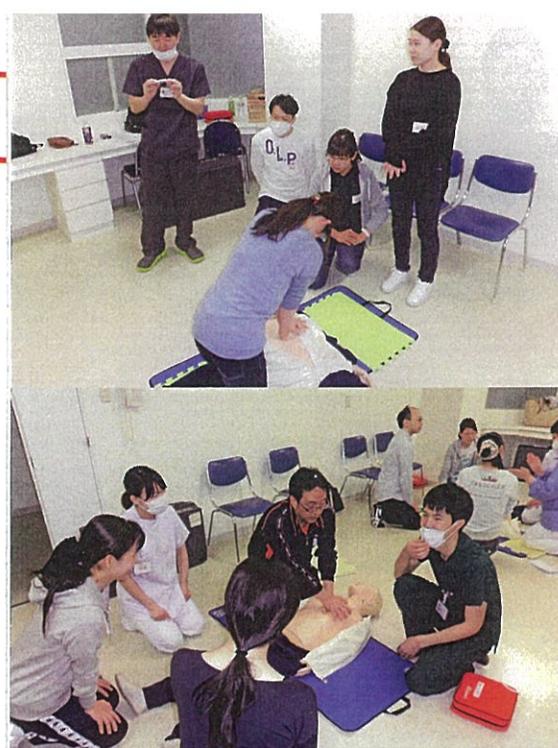
また、高齢者の増加により摂食・嚥下機能障害や認知症ケアは、専門知識や技術の普及が急務であることから各認定看護師活動を推進して参ります。

今年度看護部では、救急看護認定看護師を活用し、急変時シミュレーションや急変時の記録記載力向上に全部署が取り組んでおります。これらは、どの施設においても職員教育ニーズが高いことが予測されます。地域医療支援病院として院内教育研修センターと連携し、これら専門性の高い看護師(13領域25名:専門看護師2名、認定看護師23名)の派遣を出前講座として開始しておりますので、是非ご利用いただければ幸いです。

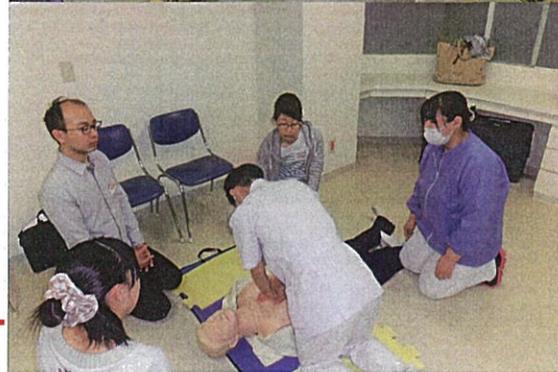
医療を取り巻く環境は大変厳しい状況ですが、常に患者様や家族の最適を目指し、地域の皆様との連携を大切にし、地域に根ざした看護部作りに尽力していく所存です。

今後とも、地域連携機関の皆様には御指導、御支援賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

看護部長
平岡 康子



BLS(一次救命処置)研修会



突然の心肺停止に対する救命処置には、一般の方も含めた職種を問わずに行える一次救命処置(Basic Life Support)と医療者が、薬剤やいろいろな器具を用いて行う二次救命処置(Advance Life Support:ALS)があることは多くの方がご存知かと思えます。当院では看護部が主体となった救命処置講習はありましたが、それ以外の職種の方が受けることができる院内講習会はありませんでした。我々 BLS研修会のメンバーは、普段より年4-5回程程度のICLSコースと呼ばれる医療者向け蘇生1日コースを開催しておりますが、これは休日を利用したもので家庭のある方や日程の都合が悪い方には参加しづらいものでした。

そのため職員みんなが参加できるようにするには、平日時間外の2時間程度での講習を行う必要があると考え、BLS研修会のメンバーを中心に院内職員を対象としたBLS講習を昨年より開始しました。

現在は、2ヶ月に1回の頻度で1回25名程度の受講者を募集して行っております。対象者は、事務職、看護助手、理学療法士、薬剤師、放射線科技師、

保育士など多岐に渡ります。もちろん、看護師の参加も可能です。指導してくれる医師、看護師や臨床工学技士の皆さんは、ICLSコースインストラクター資格を持つ方が多く、救急外来や集中治療室などで働く方々ですのでより実践的な指導をしてくれています。指導内容は、突然意識をなくした方へのアプローチ法、呼吸及び脈の確認、胸骨圧迫方法、AED使用方法、窒息への対応です。特に重点を置いているのは、発見時の呼吸・脈の確認です。これらを基に心肺蘇生処置が必要である判断さえできれば、救命処置そのものはそれほど難しくはありません。

また、地域医療連携室を介した他病院からの受講希望者も募っております。毎回、10名程度の方に参加いただいています。もちろん、無料です。

受講していただいた方には院内外を問わずに3年に1度、再受講をお薦めしています。このように息の長い活動を行うことで一人でも多くの方を救える病院になれるように頑張っていきたいと考えております。(文責:救命救急センター長 小林 巖)



教育研修センターのご紹介

Education and training center

<教育研修センターの概要>

平成28年4月に新たに設置されました教育研修センターをご紹介します。従来、人事課を事務局とし教育研修推進室が設置され、全職員研修の企画・運営ならびに臨床研修医に係る業務などを行ってまいりました。

平成28年度の病院方針の重点項目のひとつに、「スタッフ・教育・研修・福祉」があげられ、従来の職種別研修に加え、組織(職種)横断的な教育研修を計画的実施するために「教育研修センター」を設置する方針が出されました。この方針を受け、「教育研修推進室」から「教育研修センター」と名称を変更し設置される運びとなりました。センター長は森川副院長、センター長補佐1名、副センター長1名、事務職員3名、司書1名で構成されています。

<教育研修センターの活動目的>

1. 赤十字の基本理念に基づき、医療人として高度な知識・技術および倫理観のある実践能力を習得し、良質で安全な医療の提供ができる人材を育成する。
2. 卒後臨床研修医が充実した研修ができるための研修体制および研修環境を整備する。
3. 地域全体の医療の質向上のため、地域の医療・介護従事者とともに学ぶ体制を構築する。

<教育研修センターの主な業務>

目的1の業務としまして、全職員を対象とした組

織横断的研修、階層別研修の企画・運営・評価の他、院内研修を企画・運営している各部門・部署・チームからなる教育研修委員会の事務局となり、委員会での情報共有、院内研修計画の把握と配布・実績管理などを行っております。目的2に関しましては、初期臨床研修医のプログラムの作成・研修スケジュール調整・評価に関すること、研修体制および研修環境の整備、関連機関等との連絡・調整などを行っております。また、研修医確保に向け、レジナビへの積極的な参加・医大生への病院説明会を実施し、医大生の実習受け入れ、見学者の受け入れの窓口として機能しております。目的3に関しましては、今年度、連携施設様宛にご案内させていただきました「出前講座」の運営を行っております。地域の医療・介護施設の皆様のお役に立てますよう、各医療技術部門や専門・認定看護師による120の出前講座メニューをご用意させていただいております。現在まで18講座(市内14、市外4)お申し込みいただいております。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。(近々、病院ホームページでもご案内予定です)

今後、地域医療支援病院として、地域に貢献できますようスタッフ一同努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(文責:教育研修センター副センター長 看護副部長 脇田美穂子)

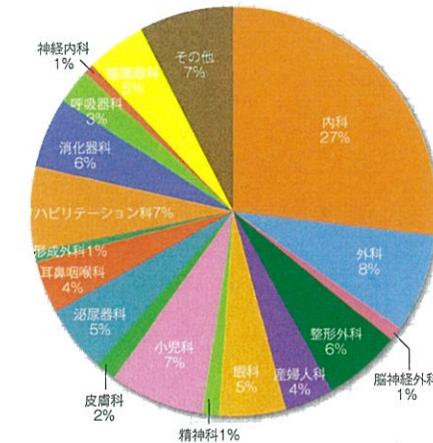
地域医療連携に関するアンケートの実施について

先般、当院の地域医療連携における課題を改善する目的に、登録医(医科)の皆様を対象にアンケート調査を実施させて頂きました。つきましては以下のとおり集計結果をご報告致します。

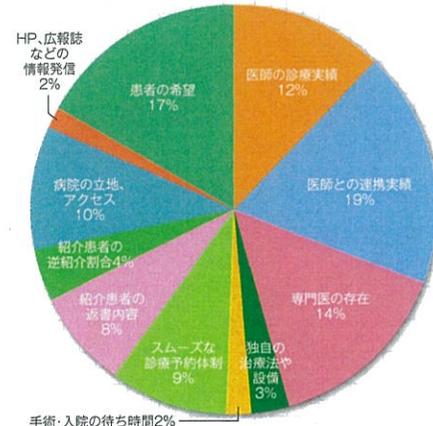
なお、「診療予約完了までの時間が長い」、「形式的な返書は不要」など様々なご意見・ご要望等を頂いております。一部のご要望につきましては、すでに対応させて頂いているものもございますが、今後さらに検討させて頂き、見直しを図りたいと考えております。ご多忙のところご協力頂きましてありがとうございました。

貴施設について

[2] 貴施設の主たる標榜科・診療科について



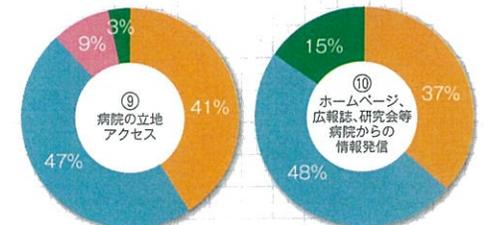
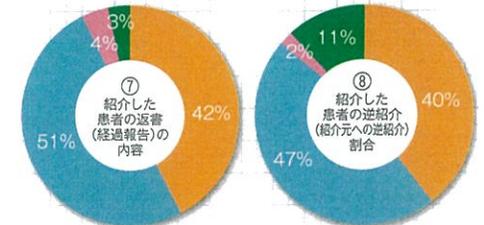
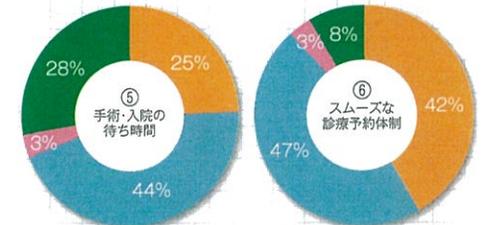
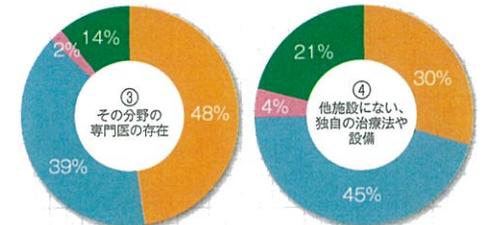
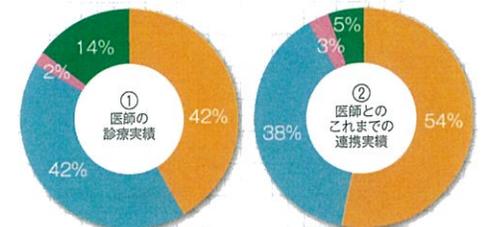
[3] 悪性腫瘍、全身麻酔手術、内視鏡等の専門的検査・治療が必要な患者の紹介先を決める際、判断基準として重視している項目について(複数回答可)



当院の機能、医師との関係について

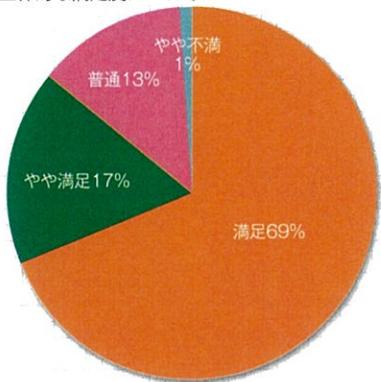
[4] 当院は他の急性期病院と比較してどう思われますか。

■ 当院の方が優れている ■ 同程度
■ 他院の方が優れている ■ 分からない



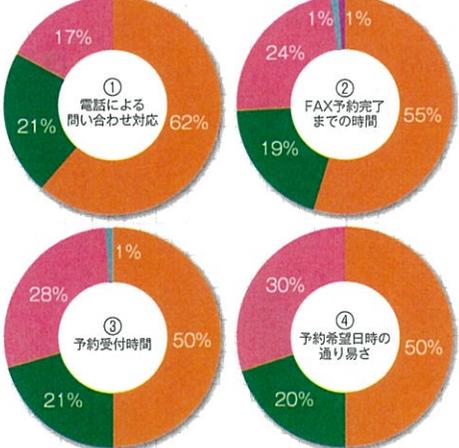
貴施設からの当院への紹介について

【5】紹介時の地域医療連携室及び当院の対応に関する全体的な満足度について

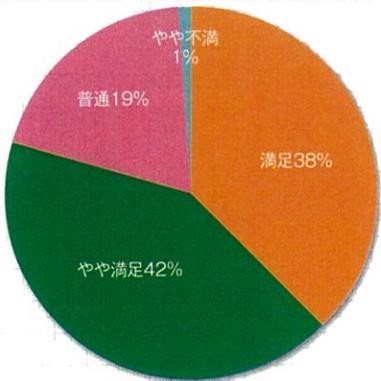


【6】時間内の当院地域医療連携室の対応について

満足 やや満足 普通 やや不満 不満

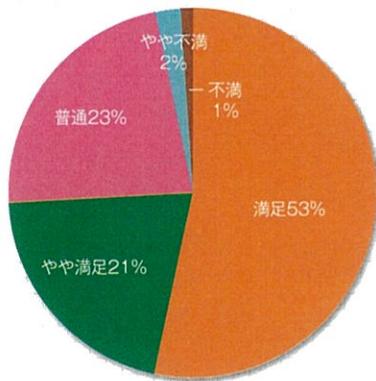


【7】時間外(夜間休日)の病院の受け入れ対応について



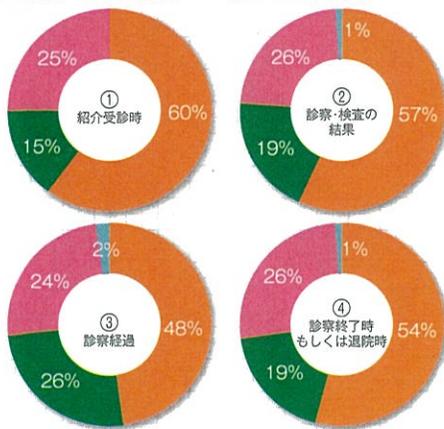
当院からの返書(経過報告)について

【9】返書に関する全体的な満足度について



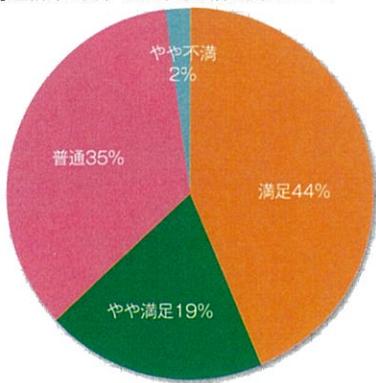
【10】返書の内容に関する満足度について

満足 やや満足 普通 やや不満

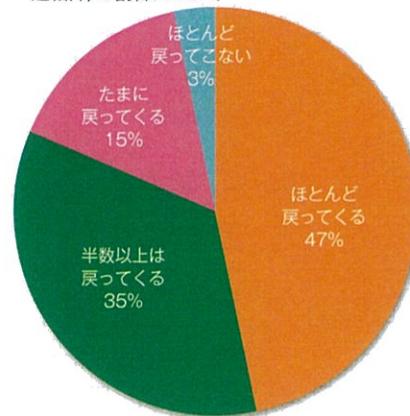


当院からの貴院への逆紹介について

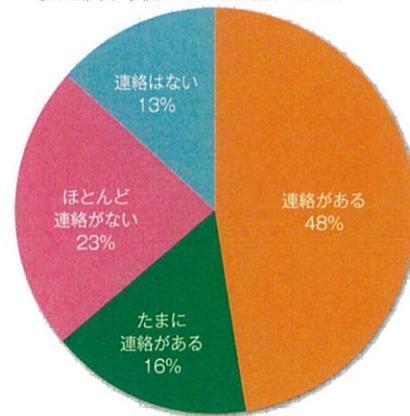
【12】逆紹介に関する全体的な満足度について



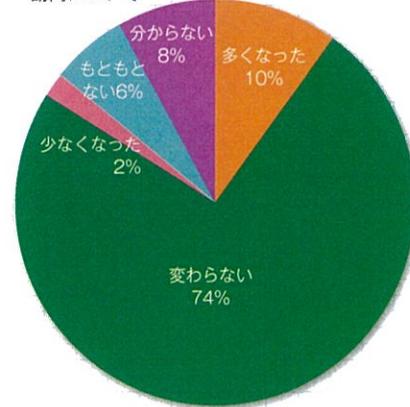
【13】当院で紹介頂いた患者の逆紹介(紹介元への逆紹介)の割合について



【14】紹介元への逆紹介がなかった場合、当院からその理由や今後について連絡があるか

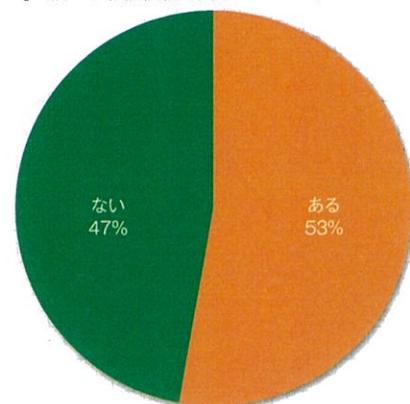


【15】当院から貴施設に新たに紹介した患者数の動向について



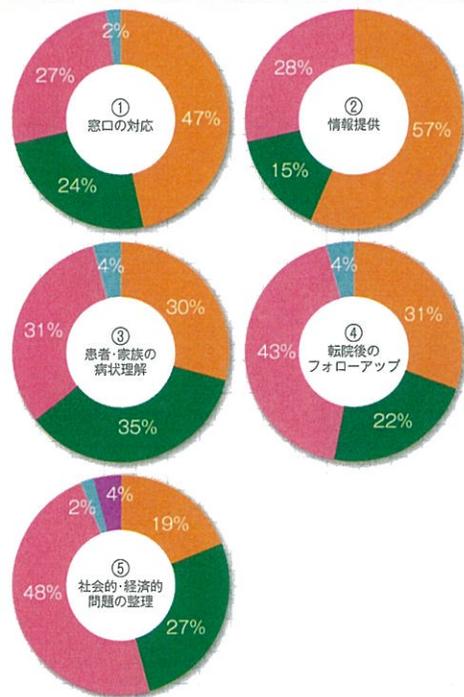
当院からの貴院への転院調整について

【17】当院から転院依頼を受けたことがあるか



【18】転院に関する満足度について

満足 やや満足 普通 やや不満 不満



●実施日:平成29年7月12日～31日
●対象:旭川赤十字病院登録医(医科)246施設
●回収:102施設
●回収率:41%